

研究って楽しいな

日本人間性心理学会研修委員会主催

研修委員会では「研究って楽しいな」というテーマで、皆さんと研究について考える研修会を開催します。まだ研究についてよく分からないなあっという学生さんから研究に行き詰まっている研究者、また学生に研究について指導する立場にある方などさまざまな方との語りを通して自らの研究について考える機会にしたいと思っております。

前半は押岡大覚氏による自らの研究体験、後半は岡村心平氏のファシリテーションによるディスカッションとなります。

この研修は臨床心理士のポイントになります。

日時：2023年2月12日（日）

9時半～12時、13時～15時半

ZOOMにて開催

料金：学会員 3000円

一般 6000円

大学院生 2000円

学部生 1000円

※学生の方は学会員・非学会員を問いません。

お申し込みはここからお願いします。→



【押岡大覚氏によるコメント】

私見では、学術研究、とりわけ心理学研究に向かう研究者個々人の心的背景には、論文に記述することのない／記述することは憚られる極めてパーソナルな動因があるように思えます。

普段の研究活動においてそのパーソナルな動因は“見て見ぬふり”の対象になりがちで、私たちは“それ”に覆いを被せるかのように先行研究にあたりたり、研究指導を受けたりしながらアカデミックな問題意識の構成をはじめ、一連の研究活動・論文の執筆に勤めます。まさに、「知性化」や「合理化」、「昇華」といった各種防衛機制の為せる業です。

かくいう私も、ここに記したものと同様のプロセスを経てまいりましたが、心理療法家としての自己分析を進めていく過程で大きな研究テーマとの出会いを果たしました。“見て見ぬふり”をしてきたパーソナルな動因に目を向ける時間と空間を持つことが、時としてライフワークにもなり得る研究テーマとの出会いをもたらすことがあるようです。

当日は、みなさんお一人お一人が、より独創的な研究活動に向かうきっかけになることを願い、前半の2時間30分は私のパーソナルな動因を含めた研究活動の一端についてご紹介させていただきます。

一人でも多くの方が、「あまりに楽しくて、誰にも教えたくない！」と心から思える研究テーマに出会えるきっかけとなりますように。

【岡村心平氏のコメント】

後半では、押岡先生やご参加いただいた方々同士の相互のやり取りを通じて、ご自身の「研究を楽しく！」をさらにブーストさせる時間を取りたいと思います。

当日は、小グループに分かれて、前半編のお話から感化されたご自身の所感や、現在のテーマ、研究についての皆さんの思いなどを、お互いにお話しながら、じっくりと見つめ直し、育んでいきましょう。

学会というコミュニティは、その構成員の学術研究活動がより賦活化し、より発展させ、その研究を必要とする他の誰かに届けるために存在します。

本企画は、私たちが日々取り組んでいる研究実践を、もっと楽しくワクワクする営みにしたい！研究する人を応援したい！という熱い思いから企画されました。

日々の実践の只中でなかなか”研究”について考えてないなあという方も、アイデアはあってもモチベーションがわかず悩んでいる方も、”研究”と聞くとなんだか尻込みしちゃうという方も…研究をとことん楽しんでいくために、ぜひ奮ってご参加ください。